

高齢者を活用

高齢者を活用したビジネスモデルを構築した企業

東京都千代田区の株式会社高齢社(従業員19名、資本金1,000万円)は、定年退職者を登録し企業に派遣する、高齢者が運営する人材派遣会社である。同社の上田研二会長は、定年退職者に「働く場」と「生きがい」を提供したいと思い、2000年に62歳で同社を設立した。同社の2010年1月末の登録者数は361名と、設立当初の約14倍に到達しており、事業は順調に拡大している。こうした取組は、日本で生まれた高齢化社会を勝ち抜くビジネスモデルとして、国外の報道機関や研究所からも注目されている。

同社の強みは、高齢者が有する経験や技能を企業に魅力的に売り込む営業力にある。定年を迎えた高齢者が、豊富な経験と実績があることや自由に時間が使えるため柔軟性が高いことなどをうまくアピールして、仕事を確保する。こうして、同社は、これまで63業務を受託した実績を持つ。

同社の上田会長は、「今後は、高齢者が働くための労働環境の整備や高齢の女性が働く機会の拡大などに精力的に取り組んでいきたい。」と話す。



高齢者による作業風景